

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 4月 7日	
旭川市長 殿	
提出者 住 所 旭川市近文町20丁目1120番23 氏 名 株式会社ヤマザキ 旭川工場 工場長 柴山 昭人 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0166-76-1120	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ヤマザキ 旭川工場
事業場の所在地	旭川市近文町20丁目1120番23
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：食料品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 44.5億
③ 従業員数	239名（正社員124名 パート他115名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長（処理計画作成担当）→
 製造部（食物残渣、廃棄物排出）→
 工務部（廃棄物管理）→
 グリーンテックス株式会社（構内外注：廃棄物処理担当）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	4217 t	t
	（これまでに実施した取組） 製造ライン効率化（歩留まり向上、ロス低減） 原材料の安定化（鮮度保管体制） 廃プラの分別（再利用品）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	3922 t	t
	（今後実施する予定の取組） 製造ライン効率化（歩留まり向上、ロス低減） 原材料の安定化（鮮度保管体制） 廃プラの分別（再利用品） 実績に対し0.07 $4217 \times 0.07 = 295$ $4217 - 295 = 3922$		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）